

製造段階での品質問題を低減する活動: チェックリスト

分類	N o.	チェック項目	判定		重要度 大
			良い	要改善	
A 不良低減への取り組み	1	品質不良低減をトップ方針に取り入れているか			
	2	具体的な不良低減目標・計画に展開しているか			
	3	目標・計画はデータの分析に基づき重点化しているか			
	4	計画には具体的な施策を明確にしているか			
	5	計画に必要な資源を与えているか			
	6	管理者/担当者間のフォローを、月1回以上行っているか			
	7	フォローで目標未達のとき、原因の分析が議論されているか			
	8	月次フォローでは来月どう取り組むかを議論/決定しているか			
	9	経営者が半期に1回以上フォローし、指示しているか			
	10	指示結果を実行しトップに報告しているか			
	11	前年度の結果を分析し次年度方針に展開しているか			
	12	以上のような活動となる仕組みがされているか			
B 技術の確立	13	品質に影響の強い技術を明確にしているか			
	14	重点的に維持・改善すべき技術を明確にしているか			
	15	重点技術の管理方法・条件(水準)を明確にしているか			
	16	重点技術の実施結果を監視しているか			
	17	重点技術の改善・新技術の開発活動を行っているか			
	18	技術の未確立に起因する品質不良が減っているか			
C 仕組みの確立	19	標準化が技術標準から作業標準まで体系的に行われているか			
	20	重点技術の技術標準は、なぜそうするのかを明確にしているか			
	21	重要製品について、QC工程表が作成されているか			
	22	QC工程表では、要因・結果系管理項目・水準、サンプリングなどを明確にしているか			
	23	QC工程表では、同記録法・関連標準・過去のトラブルなどが明確にしているか			
	24	QC工程表を、プロセスの弱点発見/改善に活用しているか			
	25	仕組みに起因する品質不良が減っているか			
D 実行: 設備	26	従業員に対する教育訓練を体系的に(目標レベル)行っているか			
	27	従業員に対する教育訓練を計画的に(フォローまで)行っているか			
	28	個々の従業員が、力量をあげる意欲をもっているか			
	29	個々の従業員の力量が、年々向上しているか			
	30	個々の従業員が、仕事の結果に関心・改善意欲をもっているか			
	31	QCサークル活動の質が高いか(仕事の質向上 + 成果)			
	32	幹部がQCサークルに関心をもち頻繁に励ましているか			
	33	人に起因する品質不良が減っているか			
E 実行: 設備	34	設備保全の目的、品質への効果を理解し推進・支援しているか			
	35	体系的・計画的に行っているか(自主保全/計画保全)			
	36	全員が設備に関心をもって、参加しているか			
	37	品質不良防止の意識で実施し/させているか			
	38	設備の保全不足に起因する品質不良が減っているか			
F 実行: 5S	39	5Sの目的、品質への効果を理解し推進・支援しているか			
	40	体系的・計画的に行っているか(直線/直角/置場/目で見える化など)			
	41	全員が5Sに関心をもち、自主的に参加しているか			
	42	規律のある職場(決めごとを守る、自主性がある)になっているか			
	43	5Sの不徹底に起因する品質不良が減っているか			
G 実行: 実施	44	標準どおりに製造しているか			
	45	標準どおりに検査しているか			
	46	標準どおりに識別・不適合管理しているか			
	47	標準を守らないことに起因する不良が発生していないか			
H 問題解決力	48	事実・データに基づいて問題を設定・解析しているか			
	49	よい品質の事実・データを、効率よく収集しているか			
	50	データから、必要な情報を効率よくとりだしているか			
	51	QC手法を適切に使って解析しているか			
	52	なぜ、なぜを繰り返して、真の原因まで追究しているか			
	53	品質不良の再発が減り、予防できているか			
I 改善力	54	品質情報を収集し、解析し改善する仕組みがされているか			
	55	重要な品質情報が漏れなく収集されているか			
	56	重要問題について、監視/解析しているか			
	57	解析の結果、問題点を早期に顕在化させているか			
	58	解析結果を報告/議論する場ができるか			
	59	解析・改善結果を、ライラックとし活用しているか			
	60	技術・仕組みの改善・改革が進んでいるか			